

平成12年国勢調査確定数 第1次基本集計結果概要

平成12年10月1日現在で実施された「平成12年国勢調査」の第1次基本集計結果（確定数）の福岡県分が、総務省統計局より公表されましたので、福岡市関係分の概要をお知らせします。

▶▶▶ 平成12年国勢調査の人口及び世帯数の確定数は次のとおり。

人口1,341,470人（平成7年比 56,634人増 4.4%増）

世帯数599,989世帯（平成7年比 55,813世帯増 10.3%増）

▶▶▶ 老年人口（65歳以上）は13.3%で前回比2.3ポイント増加、年少人口（15歳未満）は14.2%で1.8ポイント減少し、少子高齢化が進んでいるが、年少人口比率は老年人口比率を上回っている。

▶▶▶ 1世帯当たり人員は2.24人で、1人世帯が43%を占め、世帯の小規模化が進展。

▶▶▶ 高齢者のいる世帯は約2割、高齢夫婦・高齢単身世帯は合計で1割を超え、大幅増加。

▶▶▶ 25～29歳の未婚率は男73.2%、女63.4%と毎回上昇、今回は30～34歳が最も大きく上昇した。

▶▶▶ 持ち家率は37.3%、共同住宅世帯比率は69.2%で、いずれも前回より微増。

人口

総人口は1,341,470人、前回より4.4%増

平成12年10月1日現在の国勢調査による福岡市の総人口は、1,341,470人となっている。前回と比べると、56,634人の増加(増加率4.4%)で、増加率は前回(3.9%)をやや上回った。

区別にみると、人口が最も多いのが東区で、以下南区、早良区、博多区、西区、中央区、城南区の順で、すべての区で増加した。前回からの増加数は西区が最大、増加率は中央区が最大である。

男女別では、女性が45,838人多く、性比(女性100人に対する男性の数)は93.4で、前回は1.2ポイント下回った。

図1 人口及び増加率の推移(現在の市域による人口)

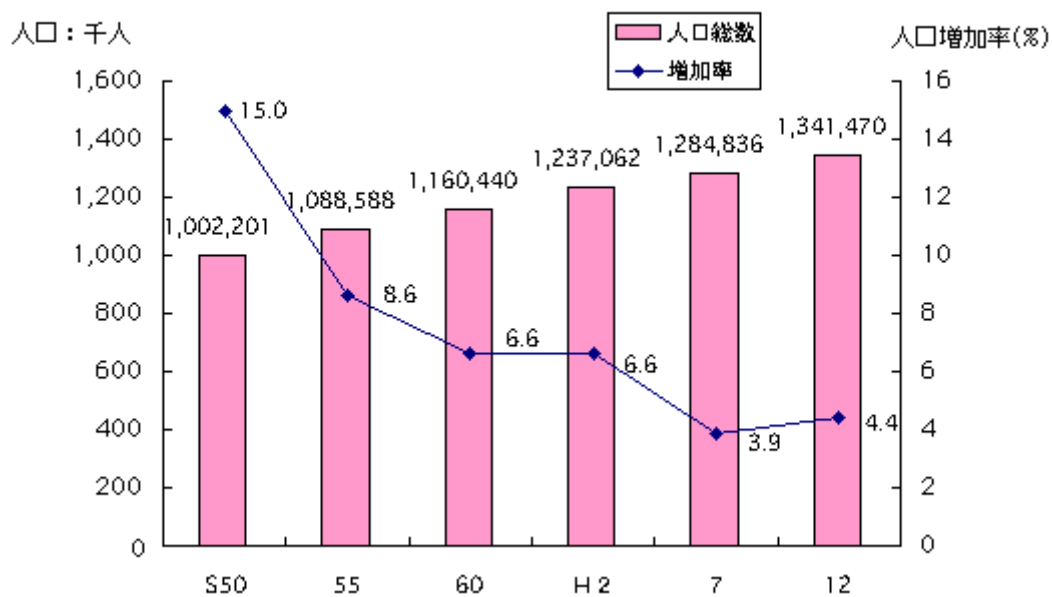


表1 福岡市の確定人口

市・区	面積 (k.m ²)	世帯数	人口			区別人口 構成比%	対前回人口増減		性比	1世帯当たり 世帯人員
			総数	男	女		数	率%		
全市	339.38	599,989	1,341,470	647,816	693,654	100.0	56,634	4.4	93.4	2.24
東区	66.06	116,519	269,307	135,104	134,203	20.1	7,766	3.0	100.7	2.31
博多区	31.47	91,266	180,722	89,646	91,076	13.5	11,385	6.7	98.4	1.98
中央区	15.16	83,326	151,602	68,432	83,170	11.3	12,006	8.6	82.3	1.82
南区	30.98	105,188	243,039	115,940	127,099	18.1	4,364	1.8	91.2	2.31
城南区	16.02	59,918	126,468	62,249	64,219	9.4	2,244	1.8	96.9	2.11
早良区	95.88	82,032	203,656	97,265	106,391	15.2	6,860	3.5	91.4	2.48
西区	83.81	61,740	166,676	79,180	87,496	12.4	12,009	7.8	90.5	2.70

注1) 面積は、平成12年10月1日現在の国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による。

注2) 対前回人口増減は、平成7年の国勢調査結果(現市域による組替え)と比較したものである。

年齢別人口

進む少子高齢化、65歳以上が13%を超える

人口を年齢(3区分)別にみると、年少人口(15歳未満)は191,092人(構成比14.2%)、生産年齢人口(15歳～64歳)は967,799人(同72.1%)、老年人口(65歳以上)は177,771人(同13.3%)となっている。

構成比を前回と比べると、年少人口は1.8ポイント、生産年齢人口は0.5ポイントそれぞれ低下、老年人口は2.3ポイント上昇し、少子高齢化が一段と進んでいる。

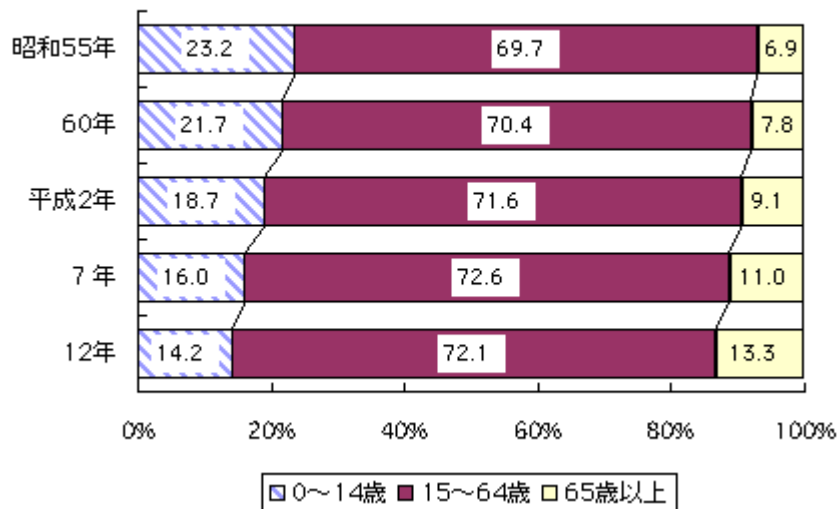
全国では、年少人口比率、生産年齢人口比率、老年人口比率がそれぞれ14.6%、67.9%、17.3%となっており、本市は全国に比べ、老年人口比率が低く、生産年齢人口比率が高い。平均年齢は38.6歳で、前回より1.7歳上昇している。

表2 年齢3区分別人口 -全市・区

年次 区別	総数	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
			構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
昭和55年	1,088,588	253,071	23.2	758,413	69.7	74,785	6.9
昭和60年	1,160,440	252,373	21.7	816,422	70.4	90,726	7.8
平成2年	1,237,062	231,390	18.7	885,821	71.6	112,654	9.1
平成7年	1,284,795	205,266	16.0	933,196	72.6	141,943	11.0
平成12年	1,341,470	191,092	14.2	967,799	72.1	177,771	13.3
男	647,816	97,545	15.1	475,245	73.4	71,770	11.1
女	693,654	93,547	13.5	492,554	71.0	106,001	15.3
東区	269,307	40,553	15.1	192,002	71.3	34,448	12.8
博多区	180,722	22,249	12.3	133,247	73.7	24,958	13.8
中央区	151,602	16,380	10.8	115,013	75.9	19,478	12.8
南区	243,039	35,937	14.8	174,163	71.7	32,830	13.5
城南区	126,468	16,704	13.2	92,827	73.4	16,212	12.8
早良区	203,656	32,337	15.9	145,141	71.3	25,570	12.6
西区	166,676	26,932	16.2	115,406	69.2	24,275	14.6
(参考) 全国	126,925,843	18,472,499	14.6	86,219,631	67.9	22,005,152	17.3

注1) 総数には、年齢不詳を含む。

図2 年齢(3区分)別割合の推移



世帯

単独世帯が増加、核家族世帯は5割を下回る。

総世帯数は、599,989世帯で、前回から55,813世帯増加(増加率10.3%)し、増加率では人口増加率の約2.3倍となっている。

世帯の家族類型別でみると、親族世帯が56.3%、単独世帯が43.1%となり、前回と比べ、親族世帯の5.1%増加に対し、単独世帯は17.1%増加している。

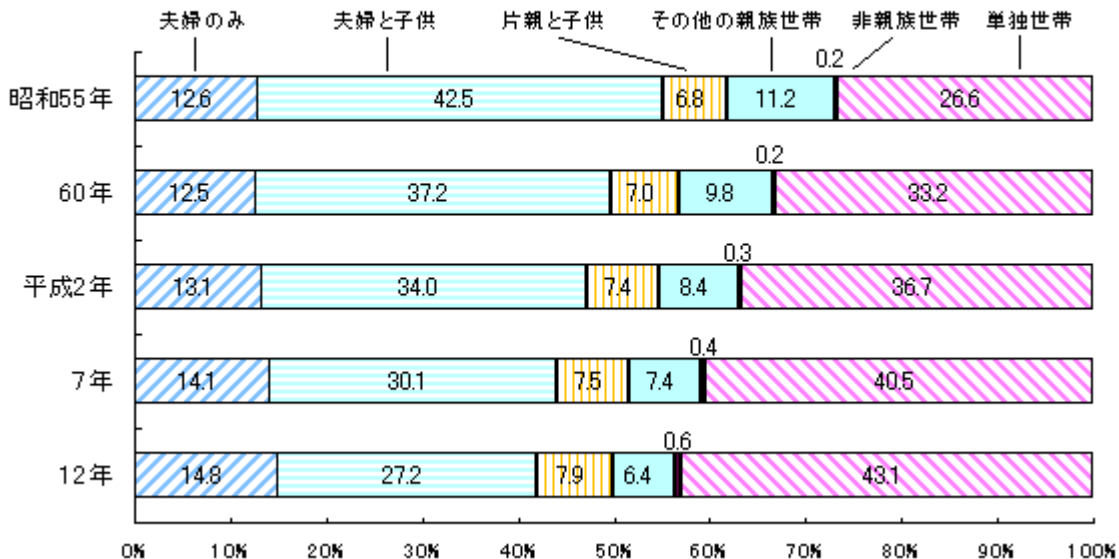
親族世帯のうち、核家族世帯は前回に比べ6.4%増加したものの、一般世帯に占める割合は5割を下回った。

表3 家族類型別一般世帯の推移

年次	一般世帯	親族世帯							非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯				その他の親族世帯			
			総数	夫婦のみ	夫婦と子供	片親と子供		その他の親族世帯		
実数										
昭和55年	366,122	267,712	226,617	46,280	155,619	3,026	21,692	41,095	902	97,508
昭和60年	431,905	287,622	245,304	54,186	160,838	3,663	26,617	42,318	967	143,316
平成2年	483,712	304,644	264,123	63,402	164,700	4,361	31,660	40,521	1,391	177,677
平成7年	539,488	318,508	278,743	75,835	162,200	4,958	35,750	39,765	2,248	218,732
平成12年	594,861	334,853	296,652	87,946	161,549	5,729	41,428	38,201	3,801	256,207
増減率(%)										
昭50~55	19.2	9.3	11.7	16.9	9.2	16.1	19.1	-2.3	29.6	58.8
昭55~60	18.0	7.4	8.2	17.1	3.4	21.1	22.7	3.0	7.2	47.0
昭60~平2	12.0	5.9	7.7	17.0	2.4	19.1	18.9	-4.2	43.8	24.0
平2~7	11.5	4.6	5.5	19.6	-1.5	13.7	12.9	-1.9	61.6	23.1
平7~12	10.3	5.1	6.4	16.0	-0.4	15.6	15.9	-3.9	69.1	17.1

注) 一般世帯は、寮・寄宿舎、病院等の施設等の世帯を除く世帯

図3 家族類型別世帯数割合の推移



高齢者世帯

高齢者のいる世帯は21%、高齢夫婦・高齢単身世帯は11.6%

65歳以上の親族のいる世帯は、124,897世帯(構成比21.0%)で、前回から、24,187世帯増加(24.0%増)し、高い伸びを示している。区別にみると、構成比、増加率とも最も高いのが西区、最も低いのが中央区となっている。

高齢夫婦世帯は、32,356世帯で、前回より、7,570世帯(30.5%増)と大幅に増加している。区別にみると、構成比が最も高いのが西区、最も低いのが博多区。

高齢単身世帯は、36,695世帯で、前回より、11,338世帯(44.7%増)増加している。区別にみると、構成比が最も高いのが博多区、最も低いのが東区。

表4 65歳以上の親族のいる一般世帯、高齢夫婦世帯、高齢単身世帯

年次 市・区	一般世帯	65歳以上			〈 再 掲 〉					
		親族のいる 一般世帯	対前回		高齢夫婦 世帯	対前回		高齢単身 世帯	対前回	
			増減率%	対一般世帯 構成比%		増減率%	対一般世帯 構成比%		増減率%	対一般世帯 構成比%
平成2年	483,712	81,161	20.7	16.8	17,889	39.9	3.7	17,708	44.9	3.7
平成7年	539,488	100,710	24.1	18.7	24,786	38.6	4.6	25,357	43.2	4.7
平成12年	594,861	124,897	24.0	21.0	32,356	30.5	5.4	36,695	44.7	6.2
東 区	114,366	23,495	23.1	20.5	6,460	33.4	5.6	6,124	43.9	5.4
博多区	90,776	17,789	23.4	19.6	3,744	24.3	4.1	6,794	46.3	7.5
中央区	82,522	14,782	19.5	17.9	3,519	18.4	4.3	5,683	33.4	6.9
南 区	104,999	23,230	24.4	22.1	6,323	27.3	6.0	6,613	45.4	6.3
城南区	59,194	11,595	25.3	19.6	3,262	28.7	5.5	3,381	52.5	5.7
早良区	81,425	18,201	26.2	22.4	4,971	38.2	6.1	4,687	48.3	5.8
西 区	61,579	15,805	26.5	25.7	4,077	42.5	6.6	3,413	50.3	5.5

注1) 高齢夫婦世帯は、夫が65歳以上で妻が60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

注2) 高齢単身世帯は、65歳以上の1人のみの一般世帯

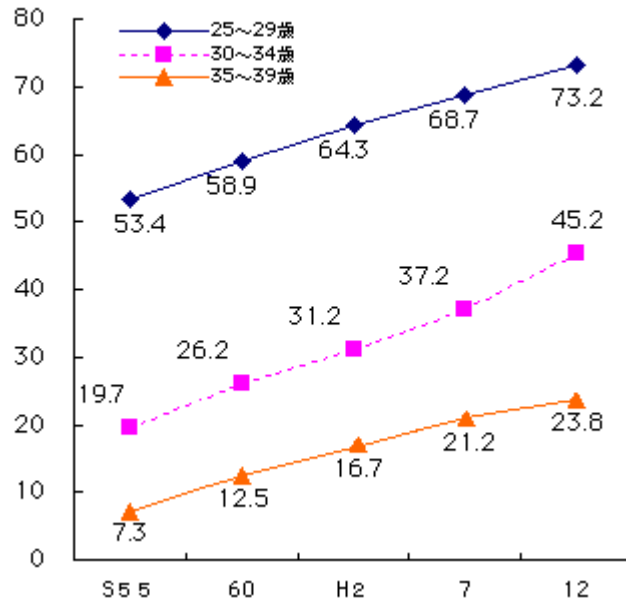
配偶関係

25歳～29歳で女性の約6割が未婚

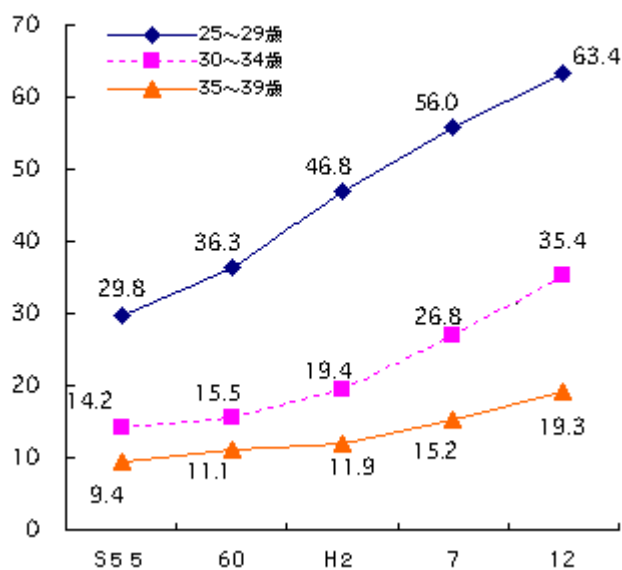
15歳以上人口について男女別に配偶関係をみると、有配偶率は男性が54.1%、女性が49.2%で、前回と比べ、男性で1.3ポイント、女性で2.0ポイント低下している。

年齢別に未婚率の推移をみると、男女各年齢階級とも上昇しているが、30歳～34歳で前回に比べ、男性が8.0ポイント、女性が8.6ポイント上昇している。25歳～29歳の女性では未婚率約6割を占めている。

％ 図4 男性の未婚率の推移（昭和55年～平成12年）



％ 図5 女性の未婚率の推移（昭和55年～平成12年）



住宅

持ち家率は37%、共同住宅世帯率は69%で、ともに微増

住宅を所有関係別にみると、民営の借家が258,690世帯（構成比44.7%）で最も多く、次いで持ち家が215,796世帯（同37.3%）となっている。

住宅の建て方別では、共同住宅が400,253世帯（構成比69.2%）で最も多く、次いで一戸建が166,948世帯（同28.8%）。

持ち家率は37.3%で、前回より0.9ポイント増、共同住宅世帯率は69.2%で、前回より2.7ポイント増となっている。

表5 住宅の所有関係、住宅の建て方別一般世帯数

住宅所有関係	総数	一戸建	長屋建	共同住宅				その他
				総数	1・2階建	3～5階建	6階建以上	
実数								
平成7年	522,996	161,501	12,822	347,593	72,680	151,181	123,732	1,080
平成12年	578,748	166,948	9,731	400,253	70,081	156,265	173,907	1,816
建て方別構成比%	100.0	28.8	1.7	69.2	12.1	27.0	30.0	0.3
持ち家	215,796	138,128	1,640	75,468	1,103	19,923	54,442	560
公営の借家	33,438	58	1,234	32,145	159	19,004	12,982	1
公団・公社の借家	32,672	-	81	32,591	12	19,278	13,301	-
民営の借家	258,690	23,407	6,116	228,520	65,419	82,150	80,951	647
給与住宅	31,372	2,848	413	27,676	2,067	14,706	10,903	435
間借り	6,780	2,507	247	3,853	1,321	1,204	1,328	173
所有関係別構成比(%)								
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
持ち家	37.3	82.7	16.9	18.9	1.6	12.7	31.3	30.8
公営の借家	5.8	0.0	12.7	8.0	0.2	12.2	7.5	0.1
公団・公社の借家	5.6	-	0.8	8.1	0.0	12.3	7.6	-
民営の借家	44.7	14.0	62.9	57.1	93.3	52.6	46.5	35.6
給与住宅	5.4	1.7	4.2	6.9	2.9	9.4	6.3	24.0
間借り	1.2	1.5	2.5	1.0	1.9	0.8	0.8	9.5

外国人

外国人は11,596人で、前回より9.6%増

本市に居住する外国人は11,596人で、前回より9.6%増。総人口に占める割合は0.9%となっている。

国籍別では、韓国・朝鮮が45.1%と最も多く、次いで中国が33.6%となっている。

表6 国籍、男女別外国人数

国籍	平成12年			平成7年 総数	増減数	増減率(%)
	総数	男	女			
総数	11,596	5,676	5,920	10,576	1,020	9.6
韓国・朝鮮	5,228	2,420	2,808	5,634	-406	-7.2
中国	3,901	1,998	1,903	2,950	951	32.2
東南アジア	891	361	530	619	272	43.9
フィリピン	414	73	341	274	140	51.1
タイ	60	19	41	63	-3	-4.8
その他	417	269	148	282	135	47.9
アメリカ	392	242	150	434	-42	-9.7
イギリス	121	74	47	112	9	8.0
ブラジル	57	21	36	86	-29	-33.7
ペルー	64	36	28	52	12	23.1
その他	782	453	329	615	167	27.2

注) 総数には無国籍及び国籍不詳を含む。

参考

▶▶ 参考1 国勢調査人口の推移（現在の市域による人口）

国勢調査人口の推移（現在の市域による人口）

年次	世帯数	人口総数	人口総数		人口増加率 (%)	人口密度 (人/km ²)	性比	1世帯当 りの人員
			男	女				
大正9年	45,532	239,956	121,294	118,662	-	707	102.2	5.27
大正14年	52,992	274,415	137,791	136,624	14.4	809	100.9	5.18
昭和5年	60,392	321,276	161,631	159,645	17.1	947	101.2	5.32
昭和10年	69,595	372,499	185,213	187,286	15.9	1,098	98.9	5.35
昭和15年	77,122	398,468	196,461	202,007	7.0	1,174	97.3	5.17
昭和22年	91,065	416,322	204,962	211,360	4.5	1,227	97.0	4.57
昭和25年	106,752	487,885	238,763	249,122	17.2	1,438	95.8	4.57
昭和30年	126,780	591,868	289,024	302,844	21.3	1,744	95.4	4.67
昭和35年	165,540	682,365	334,040	348,325	15.3	2,011	95.9	4.12
昭和40年	210,069	769,176	374,102	395,074	12.7	2,266	94.7	3.66
昭和45年	264,023	871,717	420,599	445,110	13.3	2,509	95.0	3.29
昭和50年	333,928	1,002,201	493,362	508,839	15.0	2,953	97.0	3.00
昭和55年	397,013	1,088,588	536,765	551,823	8.6	3,208	97.3	2.74
昭和60年	433,418	1,160,440	568,166	592,274	6.6	3,419	95.9	2.68
平成2年	490,915	1,237,062	603,548	633,514	6.6	3,645	95.3	2.52
平成7年	544,176	1,284,836	624,649	660,187	3.9	3,786	94.6	2.36
平成12年	599,989	1,341,470	647,816	693,654	4.4	3,953	93.4	2.24

注1)人口密度のもととなる面積は、国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による。

注2)世帯数については昭和50年以前と55年以降で世帯のとらえ方が異なる。

参考

▶▶ 参考2 福岡都市圏の世帯数及び人口

市町村	世帯数	人口	平成7年～12年の人口増減		平成2年～平成7年の人口増減率
			増減数	増減率	
				%	%
福岡都市圏	908,054	2,234,426	115,653	5.5	6.6
福岡市	599,989	1,341,470	56,634	4.4	3.9
福岡市以外の都市圏	308,065	892,956	59,019	7.1	11.0
福岡県	1,917,721	5,015,699	82,306	1.7	2.5
筑紫地域	144,695	399,329	28,015	7.5	11.5
筑紫野市	32,496	93,049	11,337	13.9	16.6
春日市	39,178	105,219	6,054	6.1	11.8
大野城市	33,272	89,414	6,511	7.9	10.2
太宰府市	24,548	66,099	1,186	1.8	4.0
那珂川町	15,201	45,548	3,203	7.6	15.8
糟屋地域	83,708	250,753	17,903	7.7	9.4
古賀市	18,573	55,476	4,232	8.3	12.1
宇美町	11,490	38,126	1,398	3.8	7.1
篠栗町	9,760	29,389	3,075	11.7	13.1
志免町	13,271	37,794	1,595	4.4	4.5
須恵町	7,929	25,086	961	4.0	8.6
新宮町	7,731	22,431	3,204	16.7	24.1
久山町	2,315	7,640	131	1.7	△ 0.2
粕屋町	12,639	34,811	3,307	10.5	6.1
宗像地域	51,240	147,834	6,752	4.8	10.4
宗像市	29,062	81,588	4,652	6.0	12.7
福岡町	14,086	41,480	1,369	3.4	11.0
津屋崎町	4,604	14,298	265	1.9	4.6
玄海町	3,114	9,559	474	5.2	1.5
大島村	374	909	△ 8	△ 0.9	△ 6.7
糸島地域	28,422	95,040	6,349	7.2	14.3
前原市	19,795	63,883	5,939	10.2	15.3
二丈町	3,947	13,586	438	3.3	14.8
志摩町	4,680	17,571	△ 28	△ 0.2	10.7

注)人口増減数及び人口増減率について、福岡市と春日市は、平成7年結果を現在の市域に組替えたものである。